

(別紙1)

第1次審査及び第2次審査における評価基準

評価項目	評価の着目点	評価点
業務目的等の理解度	業務の目的や方向性を的確に捉えているか これまで類似業務を行ったことがあるか	5
業務の遂行体制及び事業計画の的確性	業務を円滑かつ誠実に遂行できる組織体制及び業務計画であるか	5
企画提案内容	【小学生向けワークショップの実施】 ①沖縄に鉄軌道が無いことによる課題を通し、鉄軌道の必要性に関する理解を深め、早期導入の機運醸成に繋がるような内容を提案できているか。 ②他の自治体や過去の事例を参考にするなどしたうえで、当該イベントが今後の機運醸成にどのように寄与するか等具体的な展開を説明できているか。 ③発達段階等対象とする学生の特性を踏まえ、参加予定者に主体性を持たせ、潜在意識及び積極的な意見を引き出すための工夫(※)を提案できているか。 ※実施形態・手法、地域の実情に即したテーマや設問の設定等 ⇒ 創意工夫、的確性、具体性が高い場合に優位に評価する。	15
	【県内鉄軌道PRイベント】 ①より多くの県民に周知し、機運醸成に繋げるとともに、本経済社会の自立的な発展に寄与することを目的とした内容となっているか ②他の自治体や過去の事例を参考にするなどしたうえで、当該イベントが今後の機運醸成にどのように寄与するか等具体的な展開を説明できているか。 ③集客力を高めるための効果的な周知方法を提案できているか。 ⇒ 創意工夫、的確性、具体性が高い場合に優位に評価する。	15
	【パネル展示・アンケート業務】 ①過年度実績を鑑み、効果的な機運醸成の観点から、パネル展示実施個所を3箇所以上を提案できているか。 ②ターゲット（属性等）を明確にしたうえで、当該実施個所でのパネル展示が今後の機運醸成にどのように寄与するか等具体的な展開を説明できているか。 ③今までに県が実施した鉄軌道導入に関する取組により、鉄軌道に対する県民意識の向上が定量的に把握できる内容のアンケートとなっているか。 ⇒ 創意工夫、的確性、具体性が高い場合に優位に評価する。	10

※上記について書面審査を行うので、各項目に係る説明を各提出様式等へ盛り込むこと。